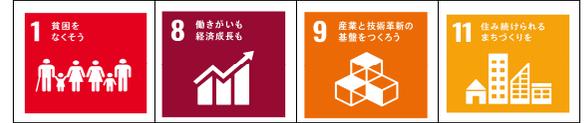


目次 (令和7年度実施計画書)

【施策の大綱4】安定したまちの基盤をつくります

ページ	大綱	分野	事業名	事業区分	課名
122	4	11-1	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	継続事業	都市建設課
123	4	11-2	役場庁舎等維持管理事業	継続事業	総務課
124	4	11-3	中城村橋梁長寿命化修繕事業	継続事業	都市建設課
125	4	11-3	村道新川線災害防除事業	継続事業	都市建設課
126	4	11-3	未買収道路用地取得事業	新規事業(通常)	都市建設課
127	4	11-3	交通安全対策特別交付金	継続事業	都市建設課
128	4	11-3	村道奥間～南上原線整備事業	継続事業	都市建設課
129	4	11-3	舗装構成改良事業	継続事業	都市建設課
130	4	11-3	南上原土地区画整理事業	継続事業	都市建設課
131	4	11-4	護佐丸バス運行事業	継続事業	企画課
132	4	11-4	中城村地域公共交通計画策定事業	継続事業	企画課
133	4	11-5	雨水出水浸水想定区域図作成事業	継続事業	上下水道課
134	4	11-6	中城村水道事業	継続事業	上下水道課
135	4	11-6	下水道事業	継続事業	上下水道課
136	4	11-6	効果促進事業(中城村公共下水道事業接続推進事業)	継続事業	上下水道課
137	4	11-6	旧南上原配水池取壊し・パークゴルフ場再整備事業	新規事業(通常)	上下水道課
138	4	12-1	観光地周辺環境美化事業	継続事業	都市建設課
139	4	12-2	公園長寿命化計画策定事業	新規事業(通常)	都市建設課
140	4	12-2	スポーツ観光交流拠点形成推進事業	継続事業	生涯学習課

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業													
令和6年度 事業費	8,591	千円	令和7年度 事業費	36,188	千円	対前年度 増減額	27,597	千円	総事業費 (令和7～9年度)	66,188	千円	事業区分	継続事業

事業概要 地域課題の解決や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。	第五次総合計画での位置付け								担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります								都市建設課	
	基本施策	⑪全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します								担当係	まちづくり計画係
	分野	11-1 均衡の取れた土地利用の推進								担当名	佐久田、比嘉
	その他関係施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します								内線番号	281
事業期間	令和	4	年	～	令和	13	年	積算資料			

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
本村は、社会的・歴史的な特殊事情により計画的な土地利用ができなかったことにより、本村の国道沿いは住宅が張り付き、民間事業者の活力を活かした商業施設等が進出できない状況となっている。そのため、世界遺産・中城城跡への観光客や吉の浦公園でのスポーツキャンプ等への見学者等による村内消費が生まれず、交流人口の獲得もできない状況となっているほか、民間事業者の活力を活かしたにぎわいづくりの拠点がなくことによる村民同士の交流や地域活性化の取組みも実施できない状況である。					戦後の影響によって阻害されてきた土地利用を再編し、民間事業者の活力を活かした商業施設を誘致し、併せて交通結節点の機能を整備することで、住民の利便性向上だけではなく、同施設におけるイベント等の開催を通じた住民交流の促進や、また、交流人口の増加による観光消費の増加等獲得等を通じて、魅力的で持続可能なまちづくりに寄与する。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	3,663	不動産鑑定業務	委託料	10,000	アドバイザー業務	委託料	10,000	交通アセスメント
委託料	16,940	事業者公募支援業務				委託料	10,000	インフラ設計業務
委託料	15,585	地区施設概略図作成業務						
合計	36,188		合計	10,000		合計	20,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	28,950	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	8,000	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	16,000	千円 80.0%
地方債				地方債				地方債			
その他( )				その他( )				その他( )			
一般財源		7,238	千円 20.0%	一般財源		2,000	千円 20.0%	一般財源		4,000	千円 20.0%

令和7年度 目標 (KPI等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業地にかかる不動産鑑定の完了</li> <li>事業者公募資料(案)の完成</li> <li>地区施設概略図の完成</li> </ul>	令和7年度 との相違点	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者選定に向けた資料作成及び事業者との契約締結</li> </ul>	令和8年度 との相違点	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業地周辺のインフラ改修に伴う設計完了</li> <li>大型店舗出店に伴う周辺地域の交通アセスメントの実施</li> </ul>
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者選定に向けた各種整備</li> </ul>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設誘致事業者公募要件の整理</li> </ul>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業地の誘致に向けた各種整備</li> </ul>

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 役場庁舎等維持管理事業													
令和6年度 事業費	47,786	千円	令和7年度 事業費	50,260	千円	対前年度 増減額	2,474	千円	総事業費 (令和7～9年度)	151,766	千円	事業区分	継続事業

事業概要 行政運営の中心である役場庁舎の適切な管理・運用を行うため、常駐警備や監視警備、清掃業務、エレベーター保守、環境衛生管理などの施設維持管理や、庁舎敷地及び公共駐車場の除草作業を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										総務課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	情報管財係
	分野	11-2 公共施設の整備										担当名	平敷
	その他関係施策											内線番号	216
事業期間	令和	7	年	～	令和	9	年	積算資料	無				

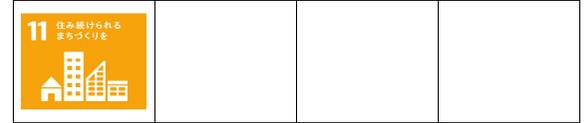
事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城村役場へ来庁される村民の清潔な庁舎環境・安全確保、又、職員の業務遂行に係る快適な職場環境の確保のため、適切な維持管理を続けていく必要がある。 また、庁舎敷地内及び公共駐車場における緑地帯の適切な管理の為の除草作業や、来庁者及び職員のニーズに合った施設改修及び災害対策本部としての施設機能見直しも検討する。					適切な保守・維持管理を実施し、管理面及び環境面において良好な庁舎環境を維持することにより村民が来庁しやすい庁舎となる。また職員にとっても安全・安心な住民サービスの提供を行える。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需要費	15,593	消耗品、修繕、光熱水費	需要費	16,060	消耗品、修繕、光熱水費	需要費	16,060	消耗品、修繕、光熱水費
役務費	6,563	通信運搬、保険	役務費	7,231	通信運搬、保険	役務費	7,231	通信運搬、保険
委託料	22,405	警備、清掃、保守	委託料	21,770	警備、清掃、保守	委託料	21,770	警備、清掃、保守
使用料	5,519	借地料、リース	使用料	5,468	借地料、リース	使用料	5,468	借地料、リース
公課費	180	自動車重量税	公課費	224	自動車重量税	公課費	224	自動車重量税
合計	50,260		合計	50,753		合計	50,753	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		50,260	千円 100.0%	一般財源		50,753	千円 100.0%	一般財源		50,753	千円 100.0%

令和7年度 目標 (KPI等)	施設の適切な管理を行う。 ・ 役場庁舎（敷地面積：7,432.78㎡、延床面積：5,597.86㎡） ・ 公共駐車場（6,963.23㎡）	令和7年度 との相違点	適時、効率的な管理方法を検討する。	令和8年度 との相違点	適時、効率的な管理方法を検討する。
今後の展開	・ 来庁者及び職員のニーズに応じた施設改修及び修繕や備品の整備。 ・ 災害対策本部として業務を遂行していくために必要な施設機能見直し検討	目標	施設の継続的な適切管理及び長寿命化を図る。	目標	施設の継続的な適切管理及び長寿命化を図る。

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		中城村橋梁長寿命化修繕事業											
令和6年度 事業費	10,900	千円	令和7年度 事業費	51,855	千円	対前年度 増減額	40,955	千円	総事業費 (令和7～9年度)	68,265	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
平成19年に国交省道路局長により橋梁の「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」が通知され、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。 また、5年毎の法定点検を令和3年、4年に実施し、その結果に基づき、橋梁の修繕や掛け替えを計画的に実施、橋梁の破損・倒壊等を未然に防ぎ道路通行止めを防止し、住民及び利用者の安全性を図る。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります				都市建設課				
			基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係	都市建設係			
			分野		11-3 道路整備の推進				担当名	津覇 美乃			
			その他関係施策						内線番号	281			
事業期間			令和	3	年	～	令和	7	年	積算資料	有		

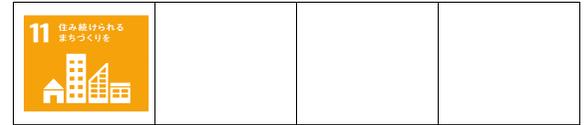
事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
橋梁長寿命化計画を策定し、予防的な修繕及び計画的な架替えを図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保する。令和3年、4年の法定点検において、2橋（泊浜原線1号ボックス、津覇前原線2号ボックス）の判定区分がⅢとなり、早期に対策を講じる必要が出ている。また、5年毎に橋梁の定期点検をすることが法定化されたため、全橋梁を再点検しなければならない。					早期に対策を講じる必要のある2橋の橋梁の架替工事を実施することで、橋梁の破損・倒壊等を未然に防ぎ道路通行止めを防止し、住民及び利用者の安全性を図る。 また、橋梁長寿命化計画を更新し、予防的な修繕及び計画的な架替えを図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保する。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	51,855		委託料	3,420		委託料	12,990	
合計	51,855		合計	3,420		合計	12,990	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	道路メンテナンス事業	41,484	千円	80.0%	国庫補助金名	道路メンテナンス事業	2,736	千円	80.0%	国庫補助金名	道路メンテナンス事業	10,392	千円	80.0%
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債	橋梁長寿命化事業債	9,300	千円	17.9%	地方債	橋梁長寿命化事業債	600	千円	17.5%	地方債	橋梁長寿命化事業債	2,300	千円	17.7%
その他( )			千円		その他( )			千円		その他( )			千円	
一般財源		1,071	千円	2.1%	一般財源		84	千円	2.5%	一般財源		298	千円	2.3%

令和7年度 目標 (KPI等)	架替工事を実施（泊・津覇の2橋）	令和7年度 との相違点	橋梁長寿命化計画に基づき、R3年度に点検を行った橋について、5年ごとに橋梁定期点検を行う	令和8年度 との相違点	橋梁長寿命化計画に基づき、R4年度に点検を行った橋について、5年ごとに橋梁定期点検を行う
今後の展開	今後も5年ごとに橋梁点検調査を実施し、維持管理を行う	目標	対象の橋について橋梁定期点検を行う	目標	対象の橋について橋梁定期点検を行う

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 村道新川線災害防除事業													
令和6年度 事業費	25,000	千円	令和7年度 事業費	50,000	千円	対前年度 増減額	25,000	千円	総事業費 (令和7～9年度)	50,000	千円	事業区分	継続事業

事業概要				第五次総合計画での位置付け				担当課							
村道新川線は、中城村南上原地区土地区画整理地に隣接している村道であるが、本路線の法面が崩壊しており、法肩上有る区画整理地内の道路にも崩壊の影響がでている。道路の一部沈下や異常発生箇所を調査し、対策を実施し、利用者の安全性の向上を図る。				施策の大綱				都市建設課							
				基本施策				①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係		都市建設係	
				分野				11-3 道路整備の推進				担当名		津覇 美乃	
				その他関係施策								内線番号		281	
事業期間				令和 6 年 ~ 令和 7 年				積算資料							

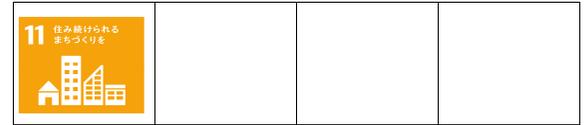
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
中城村南上原地区土地区画整理地は、人口増加が著しく、交通量も多いので、異常発生箇所を早期に調査し、対策を実施することにより、災害を未然に防ぐため、早急に対策を行う必要がある。						災害防除対策することにより、多くの利用者の安心安全が図られる。					

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	50,000	災害防除工事						
合計	50,000		合計			合計		

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	40,000	千円	80.0%	国庫補助金名		千円			国庫補助金名		千円		
県補助金名			千円		県補助金名		千円			県補助金名		千円		
地方債	新川線災害防除事業債	9,000	千円	18.0%	地方債		千円			地方債		千円		
その他( )			千円		その他( )		千円			その他( )		千円		
一般財源		1,000	千円	2.0%	一般財源		千円			一般財源		千円		

令和7年度 目標 (KPI等)	災害防除工事を実施	令和7年度 との相違点		令和8年度 との相違点	
今後の展開	工事の完了	目標		目標	

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		未買収道路用地取得事業											
令和6年度 事業費	0	千円	令和7年度 事業費	1,000	千円	対前年度 増減額	1,000	千円	総事業費 (令和7～9年度)	8,000	千円	事業区分	新規事業（通常）

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
沖縄の特殊事業により権原取得することのないまま、道路用地として一般交通の用に供されている旧琉球政府道及び旧軍管理道路並びに旧市町村道から、復帰後、補助国道、県道に指定及び認定された道路用地の買収を行うもの			4. 安定したまちの基盤をつくります						都市建設課				
			⑪全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	都市建設係			
			11-3 道路整備の推進						担当名	津覇 美乃			
			その他関係施策						内線番号	281			
事業期間			令和	7	年	～	令和	8	年	積算資料			

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
道路として利用されている土地で、補償がないまま公衆用道路として村が使用しているため、早急に分筆及び所有権移転の手続きを行うことが必要である。					現状は村道になっており、個人の財産としての活用で支障をきたしている為、用地を保証し、正式な道路用地にすることで大使はよう道路に接する土地の利用価値も向上し、道路管理面においても適切に進めることができる。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託	1,000	測量・分筆	用地費	7,000				
合計	1,000		合計	7,000		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳					
国庫補助金名	市町村道未買収道路用地取得事業	800	千円	80.0%	国庫補助金名	市町村道未買収道路用地取得事業	5,600	千円	80.0%	国庫補助金名			千円
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円
その他( )			千円		その他( )			千円		その他( )			千円
一般財源		200	千円	20.0%	一般財源		1,400	千円	20.0%	一般財源			千円

令和7年度 目標 (KPI等)	未買収事業の対象となっている道路用地の測量・分筆を行う	令和7年度 との相違点	用地の鑑定後、用地を契約し、所有権移転を行う	令和8年度 との相違点	
今後の展開	用地取得交渉を行う	目標	当該道路用地の権原を取得する	目標	

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 交通安全対策特別交付金													
令和6年度 事業費	2,000	千円	令和7年度 事業費	2,000	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和7～9年度)	6,000	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
交通安全対策特別交付金は、昭和43年に道路交通法の改正により創設された交通反則通告制度に基づき納付される反則金収入を原資として、交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を整備し交通安全上の危険箇所や利便性の向上、交通事故の発生を防止することを目的とする。			4. 安定したまちの基盤をつくります						都市建設課				
			施策の大綱			基本施策			①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します			担当係	都市建設係
			分野			11-3 道路整備の推進						担当名	津覇 美乃
			その他関係施策									内線番号	281
事業期間			令和	6	年	～	令和	9	年	積算資料			

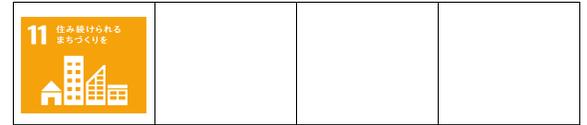
事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
交通事故の発生を防止することを目的として、村内の危険箇所交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を設置する。設置個所は、自治会からの要望及び民生員の意見を取り入れ決定する。自治会からの要望が多く、危険と思われる場所を選定し設置順位を決定しているが、毎年の交付金額での新設設置ができない状況である。又、施設も老朽化している為、台風等や大型車両等での破損が多く維持管理上の予算確保が難しい状況である。					交通安全施設（道路反射鏡、防犯灯、防護柵、外側線等）を設置することで、交通安全上の危険性が除去され、地域住民の生活利便性の向上及び安心、安全な街づくりに繋がる。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	2,000	伊舎堂前原線(カラー舗装)	工事請負費	2,000	北浜(ハンプ)	工事請負費	2,000	大瀬線(白線工事)
合計	2,000		合計	2,000		合計	2,000	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円	90.0%	国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円	90.0%	国庫補助金名	交通安全対策特別交付金	1,800	千円	90.0%
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円	
その他( )			千円		その他( )			千円		その他( )			千円	
一般財源		200	千円	10.0%	一般財源		200	千円	10.0%	一般財源		200	千円	10.0%

令和7年度 目標 (KPI等)	各種要望をベースに、現場確認の上、必要度の高い所を選定し、効果的に対策する。	令和7年度 との相違点	前年度未整備分及び、新規要望の中から、優先度の高いところを、予算の範囲内で整備する。	令和8年度 との相違点	前年度未整備分及び、新規要望の中から、優先度の高いところを、予算の範囲内で整備する。
今後の展開	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。	目標	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。	目標	維持管理による修繕と、有効的な対応ができるよう検討する。

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 村道奥間～南上原線整備事業													
令和6年度 事業費	9,976	千円	令和7年度 事業費	93,000	千円	対前年度 増減額	83,024	千円	総事業費 (令和7～9年度)	103,000	千円	事業区分	継続事業

<b>事業概要</b>  村道奥間～南上原線の国道329号との交差点において道路拡幅を行い右折帯を整備することにより、朝夕慢性化している村道の渋滞を緩和する。	<b>第五次総合計画での位置付け</b>								<b>担当課</b> 都市建設課			
	<b>施策の大綱</b>	4. 安定したまちの基盤をつくります								<b>担当係</b>	都市建設係	
	<b>基本施策</b>	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します								<b>担当名</b>	津覇 美乃	
	<b>分野</b>	11-3 道路整備の推進								<b>内線番号</b>	281	
	<b>その他関係施策</b>											
<b>事業期間</b>		令和	2	年	～	令和	8	年	積算資料			

<b>事業を実施する必要性と現状の課題</b>  村道奥間～南上原線は、東西を結ぶ主要道路であるが、区画整理を行っている南上原地区の急激な人口増加により、本線を利用して、国道329号へと抜ける車両の交通量が多く、片側1車線の道路であるため、常に渋滞を引き起こしている。そのため、国道329号との交差点に右折帯を整備することで渋滞を緩和し、道路の利便性を高める。						<b>事業実施効果</b>  南部国道事務所による奥間交差点の拡幅改良整備が行われており、本村道の改良の実施によりさらなる交通利便性の向上が期待される。					
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	75,380	南側歩道(一部)	委託	10,000	台帳整備			
用地取得	11,523							
物件補償	6,097							
合計	93,000		合計	10,000		合計		

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	74,400	千円	80.0%	国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	8,000	千円	80.0%	国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金		千円	
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債	公共事業等債	15,000	千円	16.1%	地方債	公共事業等債	1,800	千円	18.0%	地方債	公共事業等債	1,800	千円	#DIV/0!
その他( )			千円		その他( )			千円		その他( )			千円	
一般財源		3,600	千円	3.9%	一般財源		200	千円	2.0%	一般財源		-1,800	千円	#DIV/0!

<b>令和7年度 目標 (KPI等)</b>	令和7年度は、用地取得を完了し、整備工事を推進する	<b>令和7年度 との相違点</b>	整備工事を推進する	<b>令和8年度 との相違点</b>	当路線の台帳を整備する
<b>今後の展開</b>	令和7年度は、用地取得を完了し、整備工事を推進する	<b>目標</b>	整備工事の完了	<b>目標</b>	台帳整備の完了

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 舗装構成改良事業													
令和6年度 事業費	134,990	千円	令和7年度 事業費	142,700	千円	対前年度 増減額	7,710	千円	総事業費 (令和7～9年度)	193,950	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課			
日本道路公団が沖縄自動車道の建設に伴い施行した代替道路を昭和63年に村が移管を受けた村道をはじめ、村内には車道としての舗装厚が不足している村道があり、路面のひび割れや沈下が起こり通行に支障が出ている。舗装構成の変更を行い、通行車両の安全性を図ることを目的とする。対象路線は16路線。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります				都市建設課			
			基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係	都市建設係		
			分野		11-3 道路整備の推進				担当名	津覇 美乃		
			その他関係施策						内線番号	281		
事業期間			令和	5	年	～	令和	8	年	積算資料		

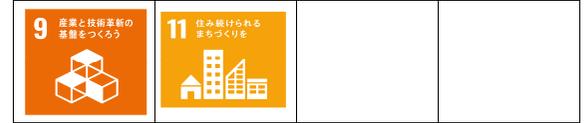
事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
日本道路公団から移管を受けた村道をはじめ、舗装厚が不足している村道があり、その路線は全面的に路面のひび割れや沈下が起こり、車両を傷つけた等の苦情も毎年でている。補修を行っても、すぐに損傷するため、維持管理での対応ではなく舗装構成の変更を行い、舗装厚の不足を解消する対策を行う必要がある。対象路線は16路線。					舗装構成の変更を行い、舗装厚の不足を解消することで通行車両の安全性を確保できる。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	18,700	測量設計	工事費	51,250				
工事費	121,000	4路線						
分筆委託料	2,000							
用地購入費	1,000							
合計	142,700		合計	51,250		合計		

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	114,160	千円	80.0%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	41,000	千円	80.0%	国庫補助金名			千円	
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債	舗装構成改良事業債	25,600	千円	17.9%	地方債	舗装構成改良事業債	8,600	千円	16.8%	地方債			千円	
その他( )			千円		その他( )			千円		その他( )			千円	
一般財源		2,940	千円	2.1%	一般財源		1,650	千円	3.2%	一般財源			千円	

令和7年度 目標 (KPI等)	令和7年度は、残り3路線の調査測量設計及び3路線分の舗装構成改良工事を実施する。	令和7年度 との相違点	令和8年度は、設計が完了した箇所について舗装構成改良工事を実施する。	令和8年度 との相違点	
今後の展開	残り3路線の調査測量設計及び3路線分の舗装構成改良工事を実施する。	目標	設計が完了した箇所について舗装構成改良工事を実施する。	目標	

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		南上原土地区画整理事業											
令和6年度 事業費	205,241	千円	令和7年度 事業費	198,000	千円	対前年度 増減額	▲7,241	千円	総事業費 (令和7～9年度)	215,600	千円	事業区分	継続事業

事業概要  学園都市として琉球大学との調和のとれた街並を形成するとともに、中城村の新たな緑住スタイルを提案していく居住環境づくり、暮らしの情報発信の場としての地区形成を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	⑪全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	区画整理係
	分野	11-3 道路整備の推進										担当名	金城 穰
	その他関係施策	12-1, 12-3										内線番号	282
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
琉球大学の移転に伴い南上原地区周辺の地域環境が変わってきており、こうした変化に対応して、住宅地・商業地・公園・学校等のインフラ整備を行い、快適で住みよい住環境を構築し健全な市街地形成を図る必要がある。 今後は、事業完了にむけて換地処分に取り組んでいく。					区画整理事業を進めることで、整備された宅地の住宅建築の促進を図り、子育て環境の向上や公共施設の充実によって大幅な地域の発展に繋がる。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬、職員手当、旅費	8,000	会計任用職員、審議会	報酬、職員手当、旅費	2,800	会計任用職員	報酬、職員手当、旅費	2,800	会計任用職員
需用費	1,500	消耗品、燃料等	需用費	1,500	消耗品、燃料等			
役務費	4,500	通信運搬費、保険	役務費	4,500	通信運搬費、保険			
委託料	168,000	換地処分、住所変更等	使用料及び賃借料	1,000	コピー機等			
使用料及び賃借料	1,000	コピー機等	原材料費	5,000	道路維持管理等			
原材料費	5,000	道路維持管理等						
工事費	10,000	記念碑						
合計	198,000		合計	14,800		合計	2,800	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )	保留地処分金、基金	198,000	千円 100.0%	その他( )	保留地処分金、基金	14,800	千円 100.0%	その他( )	保留地処分金、基金	2,800	千円 100.0%
一般財源		千円		一般財源		千円		一般財源		千円	

令和7年度 目標 (KPI等)	換地処分関連委託業務の発注 個別説明会の実施 事業計画変更（最終）	令和7年度 との相違点	換地処分公告 区画整理登記及び保留地の移転登記 清算金の徴収及び交付	令和8年度 との相違点	清算金の徴収及び交付
今後の展開	清算金の徴収及び交付	目標	換地処分公告	目標	清算金業務の完了

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 護佐丸バス運行事業													
令和6年度 事業費	23,244	千円	令和7年度 事業費	23,440	千円	対前年度 増減額	196	千円	総事業費 (令和7～9年度)	70,320	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課			
地形的に分断されている平坦部（下地区）と台地部（上地区）との東西の往来ができる公共交通及び空白地帯への日常生活の足の確保など、高齢者や学生等といった交通弱者の生活環境を改善するため、コミュニティバスを運行させる。			施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります					企画課			
			基本施策	⑪ 全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します					担当係	企画調整係		
			分野	11-4 公共交通の拡充					担当名	比嘉秀哉		
			その他関係施策						内線番号	221		
			事業期間	令和	7	年	～	令和	9	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城村は公共交通網が脆弱であり、住民の移動手段は主に国道329号を運行している路線バスのみであり、上地区と下地区を結ぶ公共交通が存在しないことから、買い物等における日常生活に支障をきたしている状況である。更に、近隣市町村にある高校へ通学するための公共交通の確保が必要であることや、高齢者等の移動制約者・移動困難者者に対する支援が求められている。					住民生活で自家用車が一般化している中でも、高齢者・障がい者や児童・生徒など、交通弱者へ移動手段を確保することにより、自立した日常生活及び社会生活を営むことができる。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需用費	2,210	バス券印刷・修繕等	需用費	2,210	バス券印刷・修繕等	需用費	2,210	バス券印刷・修繕等
役務費	84	車検手数料・自賠責等	役務費	84	車検手数料・自賠責等	役務費	84	車検手数料・自賠責等
委託料	21,039	バス運行・バス券販売	委託料	21,039	バス運行・バス券販売	委託料	21,039	バス運行・バス券販売
償還金	50	バス券購入返還	償還金	50	バス券購入返還	償還金	50	バス券購入返還
公課費	57	重量税	公課費	57	重量税	公課費	57	重量税
合計	23,440		合計	23,440		合計	23,440	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )	運賃輸入	9,000	千円 38.4%	その他( )	運賃輸入	9,000	千円 38.4%	その他( )	運賃輸入	9,000	千円 38.4%
一般財源		14,440	千円 61.6%	一般財源		14,440	千円 61.6%	一般財源		14,440	千円 61.6%

令和7年度 目標 (KPI等)	護佐丸バス利用者の増加 利用者数42,000人 (令和5年度実績40,212人)	令和7年度 との相違点	バス停位置やルート見直し等の検討	令和8年度 との相違点	バス停位置やルート見直し等の検討
今後の展開	運行ルート等の見直し検討	目標	利用者の増加と利便性向上	目標	利用者の増加と利便性向上

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 中城村地域公共交通計画策定事業													
令和6年度 事業費	6,964	千円	令和7年度 事業費	10,041	千円	対前年度 増減額	3,077	千円	総事業費 (令和7～9年度)	10,041	千円	事業区分	継続事業

事業概要  中城村地域公共交通協議会を開催し、令和6年度に実施した住民等アンケートの結果や課題整理をもとに、中城村地域公共交通計画を策定する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										企画課	
	基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	企画調整係
	分野	11-4 公共交通の拡充										担当名	比嘉秀哉
	その他関係施策											内線番号	221
事業期間	令和	7	年	～	令和	9	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
高齢化による自動車運転免許の返納や若年層の免許取得率の低下により、公共交通の役割が重要とある。また、民間事業者だけで公共交通を担う構造は維持が困難となっており、地方公共団体が中心となり村民等の移動手段を確保していくうえで、その基本方針となる地域公共交通計画を策定する必要がある。					既存公共交通の課題等の解決策や今後の方針を計画に示し公共交通の拡充を図ることで、高齢者等の移動制約者・移動困難者をはじめとした利用者の利便性向上に繋げることができる。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金	10,041	公共交通協議会						
		・報酬						
		・通信運搬費						
		・委託料						
合計	10,041		合計			合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他( )		千円		その他( )		千円		その他( )		千円	
一般財源		10,041	千円 100.0%	一般財源		千円		一般財源		千円	

令和7年度 目標 (KPI等)	計画の策定	令和7年度 との相違点		令和8年度 との相違点	
今後の展開	協議会を開催し、中城村における地域公共交通の在り方を検討し計画を策定する。	目標		目標	

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 雨水出水浸水想定区域図作成事業													
令和6年度 事業費	2,600	千円	令和7年度 事業費	40,000	千円	対前年度 増減額	37,400	千円	総事業費 (令和7～9年度)	40,000	千円	事業区分	継続事業

事業概要				第五次総合計画での位置付け				担当課							
令和3年の流域治水関連法による水防法の改正によって、雨水出水浸水想定区域の指定対象が拡大したことに伴い、雨水出水（内水）浸水想定区域図（以下、想定区域図）を令和7年度中に作成することが義務付けられました。そのため、中城村下水道事業は令和6年度より想定区域図作成に向けて取組んでまいります。				施策の大綱				上下水道課							
				4. 安定したまちの基盤をつくります				担当係		下水道係					
				基本施策				①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当名		伊佐	
				分野				11-5 雨水排水の強化				内線番号		244	
その他関係施策															
事業期間				令和 2 年 ～ 令和 6 年				積算資料		有					

事業を実施する必要性と現状の課題				事業実施効果			
雨水出水浸水想定区域図を作成することが下水道事業に係る補助金の交付要件とされたことから、令和7年度中で完成する必要がある。また、災害時の避難情報提供として市町村HPでの公開が義務づけられました。				雨水出水浸水想定区域は近年の異常気象をうけて、想定最大規模降雨を想定した浸水ハザードマップです。災害クラスの降雨の際、避難区域指定の目安として活用することが可能となります。			

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	40,000	委託業務						
合計	40,000		合計			合計		

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	防災・安全交付金	20,000	千円	50.0%	国庫補助金名		千円			国庫補助金名		千円		
県補助金名			千円		県補助金名		千円			県補助金名		千円		
地方債			千円		地方債		千円			地方債		千円		
その他( )			千円		その他( )		千円			その他( )		千円		
一般財源		20,000	千円	50.0%	一般財源		千円			一般財源		千円		

令和7年度 目標 (KPI等)	前年度の調査結果をもとに雨水整備総合計画を作成し、雨水出水浸水想定区域図の作成を完了します。	令和7年度 との相違点		令和8年度 との相違点	
今後の展開	完成した図を今後の安全な村づくりに活かしていきたい	目標		目標	

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		中城村水道事業											
令和6年度 事業費	82,600	千円	令和7年度 事業費	96,000	千円	対前年度 増減額	13,400	千円	総事業費 (令和7～9年度)	294,000	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
給水人口及び給水量の増加に対応するため、水道施設を整備し、住民への安定した給水を目的とする。 令和7年度については老朽化した水道管の布設替を中心に工事を実施する。			施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります						上下水道課			
			基本施策	①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します						担当係	施設係		
			分野	11-6 上下水道の充実						担当名	安里 亘		
			その他関係施策							内線番号	241		
事業期間			平成	29	年	～	令和	17	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
生活用水の需要増や地域開発の動向に対応するため、老朽化した水道施設の更新を行い、水の安定供給を図るため年次的に施設整備を行っていく必要がある。 今後は水道管の老朽化の進行が深刻となってくる為、早めに対策を行う必要がある。					耐震対応した水道管に布設替えをすることにより、今後の水需要の増大や災害等危機管理対策も同時に実施することができる。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	90,000	水道管布設替工事	工事費	98,000	水道管布設替工事	工事費	100,000	水道管布設替工事
委託費	6,000	配水管測量測量設計						
合計	96,000		合計	98,000		合計	100,000	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	48,000	千円	50.0%	国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	49,000	千円	50.0%	国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	50,000	千円	50.0%
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円	
その他( )	水道料金	48,000	千円	50.0%	その他( )	水道料金	49,000	千円	50.0%	その他( )	水道料金	50,000	千円	50.0%
一般財源			千円		一般財源			千円		一般財源			千円	

令和7年度 目標 (KPI等)	施工箇所(奥間、安里、当間)と工事内容(配水管改修等)	令和7年度 との相違点	施工箇所(久場、南上原、北上原)と工事内容(配水管改修等)	令和8年度 との相違点	施工箇所(北上原、新垣、登又)
今後の展開	配水管 L=1,700m	目標	配水管 L=2,000m	目標	配水管 L=2,000m

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		下水道事業											
令和6年度事業費	367,612	千円	令和7年度事業費	342,833	千円	対前年度増減額	▲ 24,779	千円	総事業費(令和7～9年度)	746,499	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
中城村公共下水道事業は、中城湾南部流域関連公共下水道事業として、平成8年度に着手し平成14年度に一部供用開始をしました。事業の実施については、人口密集区域を優先し、事業の進捗に合わせて5～7年を目安に計画を拡大・見直ししながら整備を進めています。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります				上下水道課				
			基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係		下水道係		
			分野		11-6 上下水道の充実				担当名		伊佐		
			その他関係施策						内線番号		244		
事業期間			令和	2	年	～	令和	6	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全に資することを目的として事業を実施する必要があります。課題としては、村内の下水道整備率が55.9%と低いことから、令和4年度から令和8年度まで新規交付金事業（地方創生整備推進交付金）を活用して、より一層の下水道整備推進を図ります。					下水道整備の実施により、令和3年度末の下水道整備率55.3%となり公衆衛生の向上、公共用水の水質保全が期待できる。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	276,833	汚水管工事	工事費	261,833	汚水管工事	工事費	64,833	汚水管工事
委託費	66,000	詳細設計・施工管理・磁気探査	委託費	47,000	施工管理・磁気探査	委託費	30,000	施工管理・磁気探査
合計	342,833		合計	308,833		合計	94,833	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	地方創生汚水処理施設整備推進交付金	124,000	千円	36.2%	国庫補助金名	地方創生汚水処理施設整備推進交付金	107,000	千円	34.6%	国庫補助金名			千円	
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	56,900	千円	16.6%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	56,900	千円	18.4%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	56,900	千円	60.0%
地方債	財政融資資金貸付金	161,900	千円	47.2%	地方債	財政融資資金貸付金	144,900	千円	46.9%	地方債	財政融資資金貸付金	37,900	千円	40.0%
その他( )			千円		その他( )		千円			その他( )		千円		
一般財源		33	千円		一般財源		33	千円		一般財源		33	千円	

令和7年度目標(KPI等)	南上原地区の下水道整備を完了し、伊舎堂地区の幹線工事及び詳細設計を行なう	令和7年度との相違点	引継ぎ伊舎堂地区の幹線工事及び伊舎堂集落内の汚水管工事を行なう	令和8年度との相違点	添石集落の汚水管工事を行なう
今後の展開	南上原地区整備率100% 幹線整備を推進し、添石地区及び伊舎堂地区集落の早期整備完了を目指す	目標	下水道整備率62%	目標	下水道整備率64%

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 効果促進事業（中城村公共下水道事業接続推進事業）													
令和6年度 事業費	3,000	千円	令和7年度 事業費	3,000	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和7～9年度)	9,000	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課			
中城村公共下水道事業は、中城湾南部流域関連公共下水道事業として、平成8年度に着手し平成14年度に一部供用開始をしました。事業の実施については、人口密集区域を優先し、事業の進捗に合わせて5～7年を目安に計画を拡大・見直ししながら整備を進めています。			施策の大綱		4. 安定したまちの基盤をつくります				上下水道課			
			基本施策		①全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します				担当係	下水道係		
			分野		11-6 上下水道の充実				担当名	伊佐		
			その他関係施策						内線番号	244		
事業期間			令和		2	年	～	令和	6	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
令和5年度末の下水道接続率は67.5%となっており、県内の自治体と比較しても低水準となっています。また、下地区の下水道接続率が低くなる傾向があるため、広報活動や補助制度の周知を強化する必要があります。					効果促進事業をおこなう以前の平成24年度末で30.1%であった下水道接続率は、令和5年度末時点で67.5%（前年度比+3.8%）まで上昇し、10年間で37.4%増加しました。年度目標値も毎年達成し接続率は順調に増加しており、公共用水域の水質保全に寄与しています。				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金補助及び交付金	3,000	污水管工事	負担金補助及び交付金	3,000	污水管工事	負担金補助及び交付金	3,000	污水管工事
合計	3,000		合計	3,000		合計	3,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000	千円 33.3%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000	千円 33.3%	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	1,000	千円 33.3%
地方債				地方債				地方債			
その他( )				その他( )				その他( )			
一般財源		2,000	千円 66.7%	一般財源		2,000	千円 66.7%	一般財源		2,000	千円 66.7%

令和7年度 目標 (KPI等)	下水道接続補助の広報・啓蒙活動を推進し、下水道接続率を71%まで引き上げます。	令和7年度 との相違点	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。	令和8年度 との相違点	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。
今後の展開	接続率の低い地域や人口密集地を中心に広報・啓蒙活動を実施します。	目標	下水道接続率を73%以上	目標	下水道接続率を75%以上

# 実施計画書（令和7年度）



事業名		旧南上原配水池取壊し・パークゴルフ場再整備事業											
令和6年度事業費	6,655	千円	令和7年度事業費	40,000	千円	対前年度増減額	33,345	千円	総事業費(令和7~9年度)	40,000	千円	事業区分	新規事業(通常)

事業概要 南上原配水池の建替えに伴い、公園区域を用地交換した為、旧配水池を取壊し、パークゴルフ場を復旧する事業です。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										上下水道課	
	基本施策	⑪全ての人が快適に生活できるまちの基盤を整備します										担当係	施設係
	分野	11-6 上下水道の充実										担当名	安里 亘
	その他関係施策											内線番号	241
事業期間	令和	6	年	～	令和	7	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
南上原配水池の建替えに伴い、現在糸蒲公園のパークゴルフが利用できない状況にある為、早急に復旧する必要があります。					近年続く南上原配水池関連の工事区間が解放され、住民が安全に糸蒲公園を利用することができるようになります。				

令和7年度								
予算項目	事業費(千円)	内容						
工事費	20,000	旧南上原配水池解体工事						
工事費	20,000	糸蒲公園パークゴルフ場再整備工事						
合計	40,000		合計			合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名			千円	国庫補助金名			千円	国庫補助金名			千円
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他( )	水道料金	40,000	千円	100.0%	その他( )		千円	その他( )			千円
一般財源			千円	一般財源			千円	一般財源			千円

令和7年度目標(KPI等)	令和6年度に設計業務、令和7年度に旧配水池の取り壊し、パークゴルフ場の再整備工事を行います。	令和7年度との相違点		令和8年度との相違点	
今後の展開	公園事業を担当する都市建設課と協議を行いながら早期整備の完了を目指します。	目標		目標	

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 観光地周辺環境美化事業													
令和6年度 事業費	19,637	千円	令和7年度 事業費	21,767	千円	対前年度 増減額	2,130	千円	総事業費 (令和7～9年度)	61,041	千円	事業区分	継続事業

事業概要 観光地及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行い、観光客の満足度向上を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します										担当係	農水土木係
	分野	12-1 住環境の向上										担当名	宮城宏輔
	その他関係施策											内線番号	285
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城村には、歴史的観点や観光資源としても活用されている『歴史の道』や『南上原系蒲公園』等があり、そのような場所を安全・安心に歩行できるように環境美化を行い観光振興を図る。また、本村ではスポーツコンベンションの推進による地域活性化や観光振興の魅力発信を図るため、プロサッカーチームのキャンプ誘致活動を行っており、観光客が気持ち良く村内を回遊できるよう観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。	県営中城公園の、旧ホテル跡地が解体され、今後は、城跡の正門側の整備も進むことが想定される中、現在の護佐丸ウオーキング以外にも歴史の道を使った、観光イベント等への活用が見込まれる歴史の道や、各種イベントで利用される中城村吉の蒲公園周辺道路を美化することにより、中城村の観光振興に寄与する。

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	19,417	会計年度任用職員	報酬	19,417	会計年度任用職員	報酬	19,417	会計年度任用職員
需用費	220	草刈り機替え刃等	需用費	220	草刈り機替え刃等	需用費	220	草刈り機替え刃等
備品購入	2,130	刈払機・車両購入						
合計	21,767		合計	19,637		合計	19,637	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	17,414	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	15,710	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	15,710	千円 80.0%
地方債				地方債				地方債			
その他( )				その他( )				その他( )			
一般財源		4,353	千円 20.0%	一般財源		3,927	千円 20.0%	一般財源		3,927	千円 20.0%

令和7年度 目標 (KPI等)	夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。作業が間に合わない箇所について、自治会への委託が可能か検討する。	令和7年度 との相違点	美化作業について、自治会への委託可能な個所の選定を行う。	令和8年度 との相違点	美化作業について、自治会への委託可能な個所の選定を行う。
今後の展開	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。	目標	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。	目標	特に、夏季の雑草繁忙期においても、美化された状態を保つ。

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名		公園長寿命化計画策定事業											
令和6年度 事業費	0	千円	令和7年度 事業費	25,000	千円	対前年度 増減額	25,000	千円	総事業費 (令和7～9年度)	65,110	千円	事業区分	新規事業（通常）

<b>事業概要</b>  公園施設の維持管理計画をたて、計画的な補修、更新を行い、利用者の安全・安心を確保するため、施設を健全な状態に保ちつつ寿命を延ばし、ライフサイクルコスト縮減を図るもの。	<b>第五次総合計画での位置付け</b>										<b>担当課</b>		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										都市建設課	
	基本施策	⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します										担当係	都市建設係
	分野	12-2 公園緑地の管理										担当名	津覇 美乃
	その他関係施策											内線番号	281
事業期間	令和	7	年	～	令和	12	年	積算資料					

<b>事業を実施する必要性と現状の課題</b>	<b>事業実施効果</b>
令和5年度に実施した「中城村内公園遊具定期点検業務」において、悪いものではハザード3（生命に危険、あるいは重度の恒久的な障害をもたらすハザードがある状態）と判断されたものもあり、早急な対応が必要。現在危険と判断された遊具は「使用不可」としており、地域住民から修理・更新の要望が多い。	計画を策定し、計画的な補修、更新を行うことで、公園内の事故を未然に防ぎ、住民の安全を確保しつつ、安心して公園利用ができ、健康増進に寄与する。

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託	25,000	管理計画の見直し	工事請負費	40,110				
合計	25,000		合計	40,110		合計	0	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	12,500	千円	50.0%	国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	20,055	千円	50.0%	国庫補助金名			千円	
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円	
その他( )			千円		その他( )			千円		その他( )			千円	
一般財源		12,500	千円	50.0%	一般財源		20,055	千円	50.0%	一般財源			千円	

令和7年度 目標 (KPI等)	公園長寿命化計画の策定	令和7年度 との相違点	R7に策定した計画に基づき、遊具の更新を行う。	令和8年度 との相違点	
今後の展開	公園長寿命化計画に基づき、計画的な補修、更新を行う	目標	更新が必要と判定された遊具の更新を行う。	目標	

# 実施計画書（令和7年度～令和9年度）



事業名 スポーツ観光交流拠点形成推進事業													
令和6年度 事業費	277,863	千円	令和7年度 事業費	422,756	千円	対前年度 増減額	144,893	千円	総事業費 (令和7～9年度)	422,756	千円	事業区分	継続事業

事業概要  陸上競技場管理棟とナイター設備の整備	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	4. 安定したまちの基盤をつくります										生涯学習課	
	基本施策	⑫暮らしやすい住環境と美しい景観を創出します										担当係	体育振興係
	分野	12-2 公園緑地の管理										担当名	棚原智美
	その他関係施策											内線番号	711
事業期間	令和	7	年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
<p>ごさまる陸上競技場は、村のスポーツ施設の中心として、近年では毎年サッカーキャンプの誘致を行っているが、既存の陸上競技場管理棟は昭和61年に建設されており、劣化が著しく進行しており、さらにスポーツキャンプを実施する上で十分な設備を有しておらず、令和5年度に入り、プロサッカーチームよりキャンプ等での選手受け入れ時の環境改善要望があり、キャンプの継続実施の為に、早急な機能強化が必要である。</p>					<p>施設機能を強化し、スポーツキャンプ受け入れの環境改善を実施することで、選手のみならず観覧者も含めた施設利用者の利便性向上を図り、観光客の増加による更なる地域振興を図る。また、村のスポーツ施設の中心として村民の多様なニーズに対応することで、若年層のみならず高齢者までの幅広い世代がスポーツと触れ合う機会を創出し、村民の健康増進を図ることができる。</p>				

令和7年度			令和8年度			令和9年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
監理委託料	9,697	新築工事の施工監理						
工事費	371,224	新築工事						
備品購入費	41,782	各種備品の購入						
手数料	53	完了検査手数料						
合計	422,756		合計			合計		

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	沖縄振興特定事業推進費	338,204	千円	80.0%	国庫補助金名		千円			国庫補助金名		千円		
県補助金名			千円		県補助金名		千円			県補助金名		千円		
地方債			千円		地方債		千円			地方債		千円		
その他( )			千円		その他( )		千円			その他( )		千円		
一般財源		84,552	千円	20.0%	一般財源		千円			一般財源		千円		

令和7年度 目標 (KPI等)	工事を完了し、供用を開始する。	令和7年度 との相違点		令和8年度 との相違点	
今後の展開	サッカーキャンプを中心にした整備を実施しているが、今後は陸上などの他の競技でもキャンプ誘致していけるよう整備していきたい。	目標		目標	